

富山大学大学院 生命融合科学教育部 特別講演会

講師：筑波大学 国際統合睡眠医科学研究機構 特命教授

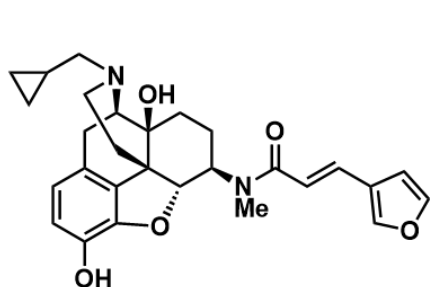
長瀬 博 先生

演題： 難治性掻痒症治療薬ナルフラフィンの研究・開発
とオレキシン受容体拮抗薬の設計・合成

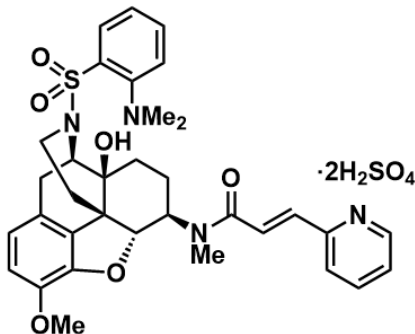
日時： 令和元年12月20日（金） 16:30-18:00

場所： 富山大学工学部・大会議室

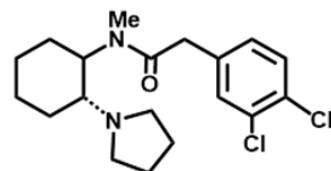
オピオイド κ 作動薬、ナルフラフィンは2009年に発売以来、腎透析、肝疾患の患者の重篤な痒みを適用に売り上げを伸ばしてきた。一方で、他社の κ 作動薬(代表的な化合物:U-50488H)は重篤な副作用である薬物嫌悪性が問題となり、臨床試験初期でいずれも撤退した。なぜナルフラフィンのみが嫌悪性を発現しないのか未だに世界中の研究者が疑問をもち、研究を続けている。我々はこの疑問を解決すべく、研究を重ね、その機序を解明した。その過程でナルフラフィンがオレキシン1受容体拮抗作用を示すことを発見し、その活性を100倍向上したYNT-1310を開発した。本講演ではナルフラフィンの開発、及び嫌悪性分離の機序、YNT-1310の開発についてお話する。



ナルフラフィン



YNT-1310



U-50488H

多数の皆様のご来聴をお待ち申し上げます。

連絡先： 豊岡尚樹(富山大学工学部)
TEL: 076-445-6859
toyooka@eng.u-toyama.ac.jp